

子育て支援の活動を進めるNPO・ ボランティア団体への助成プログラム

応募期間

2021年
12月1日(水)から
2022年
1月31日(月)まで

2021年度 近畿ろうきん NPOアワード

多彩な子育て支援のプログラムを大募集!



助成額

みなさまの教育ローンのご利用が地域の子育て支援につながっています

2021年4月～2022年3月までの期間に、当金庫がお客様にご融資した教育ローン合計額の0.05%(最大250万円)を助成します。

助成を行う団体数・助成額は下記の予定ですが、助成総額にもとづき、変更となる場合があります。

【はばたきコース】団体規模に関係なくプログラムを募集します

●大賞(1団体)…50万円 ●優秀賞(2団体)…30万円 ●奨励賞(5団体)…20万円

【はぐくみコース】予算規模200万円以下の小規模団体を応援します

●はぐくみ賞(4団体)…10万円

応募方法

申請書に必要事項を記入の上、提出書類と一緒に、近畿ろうきん地域共生推進室へ郵送してください。

※申込書類は返却いたしませんので、あらかじめご了承ください。

※【はばたきコース】・【はぐくみコース】のいずれかのコースを選択いただき、ご応募ください。

※「募集のご案内」「申請書」は当金庫ホームページからダウンロードしてください。

https://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/

応募期間は 2021年12月1日(水)～2022年1月31日(月) ※必着。

近畿ろうきんNPOアワード受賞団体 活動報告

近畿ろうきんNPOアワードは、ろうきん事業とリンクさせてNPO・ボランティア団体等に助成する社会貢献活動です。2019年度の当制度を受賞し、2020年4月～2021年3月にプログラムを実施された12団体の活動報告をお届けします。

はばたきコース

大賞

NPO法人 ホッピング (和歌山)

趣味や特技・子育て経験を活かそう!

これから何かはじめたいママたちの子育て・起業支援

資格や特技をもつママたちをホッピング登録ママ講師®として登録し、自分の好きなことで起業を希望する母親達の「自助共助コミュニティ」をつくり、子育てママの仕事と家庭の両立支援を行っています。

助成プログラムでは、ママ講師®の活動プロフィールBOOKの制作やママ講師®交流会の定期開催、ママ講師®インタビュー動画の制作などを行い、地元企業のイベントへのママ講師®起用が決まるなど、ママ講師®活動を広くアピールすることができました。これからも子育てを楽しみながら社会復帰をしたいママを増やしていきたいと思えます。



認定NPO法人

びわこ豊穡の郷 (滋賀)

環境学習の機会を通し子どもが年代に関係なく多くの「仲間」と活躍できる場づくり

夏休み生きもの観察教室では、「目田川」で、児童を対象に、大学講師や樹木医の指導で昆虫、魚、貝、植物などを採集し、スケッチの指導は細密画家が担当しました。こどもガイド教室は、7月から毎月1回、専門家やほたるの森資料館職員とともに、ホタルの生態や自生環境の学習や河川整備活動を行いました。また、3月には、その活動の振り返りと今後の発展に向けて、大学准教授を招き勉強会を行いました。

これらの活動を通じ、身近にある河川に興味や愛着を持ちリーダーとしての自覚と自信を持ってくれる次世代の児童が育ってくれることを期待します。



優秀賞

NPO法人 子どもの生活支援ネットワーク こ・はうす (和歌山)

定時制高校内居場所カフェのパワーアッププログラム

定時制高校との連携によって、校内に生徒たちが気軽に参加できる居場所をつくりました。7月から週2回程度、年間で46回実施することができました。当初予定した軽食提供は最後まで行うことができず、残念でしたが、飲食の代わりにボードゲームやけん玉等を用意して遊びに誘ったりしながら、スタッフとのコミュニケーションを深めました。また、それらのゲーム類を居場所以外の時間帯は図書室に設置し、いつでも使えるようにしました。

12月と3月に高校の教職員と一緒に振り返りの会議を行い、生徒たちの様子や居場所づくりの工夫について意見交換し、連携を深めることができました。



奨励賞

NPO法人

キンダーフィルムフェスト・きょうと (京都)

第26回京都国際子ども映画祭の企画・運営

公募で集まった子ども審査員5名(小学4年生～中学3年生まで)によって、グランプリ選出、最終日に発表と講評を行いました。映画祭の運営には、子どもスタッフが主体的に携わり、当日のオープニング、クローージングイベントを企画し、司会進行、アナウンス、上映作品紹介、音響設営、会場設営などを行いました。また、日本語字幕のない映画は、声優による同時吹き替えによって上映し、一部の作品は子どもスタッフも担当しました。今年は、映画祭に関わる子どもたちのエネルギーと頑張りが例年にないほど高いレベルでした。



NPO法人

Japan Hair Donation & Charity (大阪)

世界に一つだけの「ONEWIG」を無償で提供するプログラム

例年であれば、年間でおおよそ120名にウィッグをお渡しできているところですが、コロナの影響で昨年はほとんどお渡しすることができませんでした。それでも、10月より非接触によるリモートメジャーメントの仕組みを導入し、ウィッグの提供を再開し、昨年从今年にかけて40名の方にウィッグ提供することができています。

様々な理由で髪を失った子どもたちに、一人ひとりの頭の形を採寸してウィッグを作製する活動を継続させることで、一人でも多くの子どもたちに将来への希望を伝えていきたいと思えます。



奨励賞

NPO法人

チャイルド・ケモ・ハウス (兵庫)

小児がんや重い病気の子どもと社会をつなぐ『かえっこバザール』の開催

重い病気を持つ子どもにとってはコロナに感染すると重篤になるリスクも高いため、1年間ほとんど学校に行くことができなかった子どももいます。また、家族も感染を家に持ち込まないために、外とのつながりが断たれてしまった1年でした。

そのような中、オンラインでかえっこバザールを実施しました。かえっこ専用のホームページでクイズや工作などができるようにして、ひと家族ずつ複数日にオンラインでつなぎ、ポイントでおもちゃをゲットする仕組みとしました。家族からは、「閉塞的な生活の中で子どもが楽しそうであった。自分も楽しめた」との声をいただきました。



学習サポート with YOU (大阪)

【ひとり親家庭の子どもたちのための学習サポートwith YOU】

ひとり親家庭の子どもたちの学力と進路選択の支援のために小学生と中学生への丁寧な指導ができる学習の場を運営しています。

丁寧な指導を要する子どもたちが多く的一对一で子どもの実態に合わせた指導を心がけました。子どもたちとのコミュニケーションも密にして学力だけでなく生活面の悩みにも気を配りました。講師は元教員、市民ボランティア、学生アルバイトです。学生アルバイトは進路の身近な手本という意味と生活の苦しい大学生への支援という意味があります。親との教育相談も都度行うなど、親が多忙の中でも子どもへの共通の視点を持てるように心がけました。



奈良スコール (奈良)

スコール食堂

スコール食堂では、週に2~3回、お昼ご飯を作りました。フリースクールに通っている子どもとスタッフが一緒にメニューを考え、買い出しや調理も子どもと一緒に行いました。また、密を避けるための活動場所として畑をお借りしました。畑で育てた野菜を食堂でも活用して、食育のような形で子どもたちの学びを拡充しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、当初計画よりも参加人数は少なくなりましたが、オンラインで畑での作業風景を共有して家からも参加できる工夫をし、新しい学びやつながりが増えました。



はぐくみコース

はぐくみ賞

笑顔つながるささやまステイ実行委員会 (兵庫)

笑顔つながるささやまステイ2020事業

新型コロナウイルス感染症の影響で春休み(2021年3月26日~30日)に3家族10名を迎えて開催しました。

最大の目的である、放射線量の低い丹波篠山に子どもたちをお招きすることができ、施設の釣り堀やフィールドアスレチックで思いっきり遊んだり、市内のチルドレンズミュージアムで遊ぶ機会を提供し、保護者のみなさんには、大人だけでゆっくりのんびりと過ごす時間を提供できたことは大きな成果でした。



ワールドアミーゴクラブ (滋賀)

「ワールドアミーゴクラブ」

日本語指導や教科学習の支援及びゲームや食の体験などの多様な文化交流活動を通して、主に外国につながる児童・生徒の居場所づくりを行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、中止になった行事もありました。また、感染を心配する保護者もいて、学習会参加を控える子どもたちもいました。しかし、新たに参加する子どもたちも増え、常時10人程度の参加がありました。



NPO法人 まなあそび (京都)

KIDS観光大使(醍醐寺・だるま寺)

KIDS観光大使を対象として、週1回の打ち合わせ会合をオンラインやリアル会場を交え継続して行いました。内容は、オンラインクイズ大会、京都アントプレイナーチャレンジへの応募などです。

外部募集のイベントは、コロナ感染症のため、8月のみの実施となり、参加者も10名と例年の半数になりましたが、楽しい活動(文化体験)に触れるきっかけを提供しました。今年度、新型コロナウイルスのため、例年通りの活動はできませんでしたが、オンラインでつながるという新しい活動が生まれました。

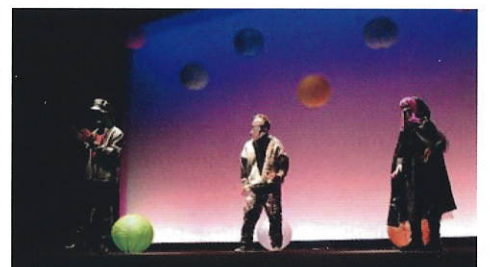


Teenagers' Free! Theater (兵庫)

ちょっと学校へ行きにくい子ども達が、演劇活動を通じて、自己表現力や自己肯定感を高めることを目指したプログラム

コロナ禍での活動となりましたが、当初の予定を変更、対策に努めながら、KAVCホール(神戸アートビレッジセンター2F)で公演を開催しました。

スタッフ募集を2ヶ月遅らせて7月から開始し、スタッフの体制を整えてから子ども達を迎え、更に練習や舞台での密を避けるため、参加者の定員を例年の半分程度にしました。神戸市のガイドライン等を遵守して公演を開催し2回公演でのべ100名の方に観劇して頂き、無事に上演することが出来ました。



近畿ろうきんでは2006年度から教育ローンの利用が地域の子育て支援につながる「NPOアワード」を実施しています。これまでのべ169団体に総額3,666万円の助成金をお届けすることができました。

近畿ろうきんはこれからもみなさまの教育ローンのご利用を通して、地域の子育て支援活動を応援します。

応募要件

■ 団体について

- 近畿2府4県に主たる事務所を置き、非営利の市民活動・ボランティア活動を行う、NPO法人と一般社団法人（非営利型）、法人格のない任意団体。
※宗教活動や政治活動を主たる目的とした団体は除きます。
- 【はぐくみコース】については、予算規模200万円以下の小規模な団体のみが応募いただけます。
- 予算規模200万円以下の団体は、いずれかのコースを選択して応募ください。（1つの団体で両方のコースに応募することはできません）
- 【はばたきコース】【はぐくみコース】ともに、同コースでの過去5年（5回）以内に受賞した団体は応募できません。
※【はぐくみコース】受賞団体による【はばたきコース】への応募はできます。
※審査委員会特別賞の受賞団体は応募できます。
- その他、詳しくは近畿ろうきんHPより「募集のご案内」をご覧ください。
https://www.rokin.or.jp/npo/npo_award/

■ 事業について

助成対象となるプログラムは、2022年4月1日～2023年3月31日に、日本国内で実施する新規プログラム（前年度からの継続分でも可）で、以下のいずれかの子育て支援事業とします。

- ① 子どもの成長を応援する事業
- ② 子育て環境を整える事業

※直接子どもが事業の対象にならなくても、子育て支援に関わることであればご応募いただけます。

選考基準

選考にあたっては、下記の視点をもとに総合的に評価し選定します。

■ 事業について

先進性、創意工夫、社会性、実現性、効果と発展性、共感と市民参加、資金計画妥当性、新規チャレンジ性

■ 団体について

組織の継続性・運営体制・活動歴、市民団体性

選考方法

事務局による事前審査の後に審査委員会を開催して、書類審査で決定します。

■ 審査委員

（予定）※敬称略

阿部 匡伴（近畿労働金庫会員推進機構 近畿推進会議 議長） 岡本 瑞子（NPO法人子どもNPO和歌山県センター 理事長）
山縣 文治（関西大学 人間健康学部 教授） 岡田 智恵（公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 事務局長）
八尾 高伸（近畿労働金庫地域共生推進室 室長）

※審査結果は、2022年6月末までに受賞団体のみに書面で通知します。選考内容等についてのご質問にはお答えいたしません。

//////////////////////////////////// 応募先・お問い合わせ先 //////////////////////////////////////

近畿ろうきん 地域共生推進室

〒550-8538 大阪市西区江戸堀1-12-1

TEL 06-6449-0842 FAX 06-6449-1414

（担当/平尾・浦田、受付/月～金9:00～17:00）

※土・日・祝日・12月31日～1月3日は除く

ホームページ <https://www.rokin.or.jp/>



近畿ろうきんFacebookページ
<https://www.facebook.com/kinkirokin/>

近畿ろうきんの活動はコチラ!



ろうきん（労働金庫）は、労働組合や生活協同組合の働く仲間が、お互い助け合うために資金を出し合っただけでなく、非営利・協同組織の「福祉金融機関」です。

現在、近畿ろうきんは、住宅・自動車・教育などの融資や財形貯蓄などの金融事業はもちろん、地域づくりを進めるNPOと社会福祉法人への社会的事業融資など、勤労者の生活を守り、社会を良くする「社会的金融」をめざしています。